



王桜中だより

第6号 令和6年9月

北区立王子桜中学校
校長 吉原 健



校長 吉原 健

心の窓を開けよう…

夏休みが終わり、元気な生徒たちの声と笑顔が学校に戻ってきました。

近年にない記録的な猛暑、そしてゲリラ豪雨、台風、地震など様々な自然の脅威にさらされ続けた今年の夏でした。こうした状況は従前とは大きく異なっていると強く実感しました。

夏休み中の部活動や宿泊行事等についても、生徒の安全と健康を守るための細心の注意と配慮を行ってきました。おかげさまで生徒に関わる大きな事故やケガの報告もなく、無事に9月を迎えられたことに安堵するとともに、ご家庭での丁寧な見守りにも深く感謝申し上げます。

夏休みが明けたばかりですが、さっそく9月10日からは大事な**定期考査**を控えています。そして定期考査が終わると2年生は9月13日から**イングリッシュキャンプ**那須に出発します。さらに9月20日の**北区連合体育大会**に向けた準備や練習も同時並行で行われ、大きな行事が目白押しです。体調にも十分気を付けて、この夏の成果を発揮して欲しいと願います。

さて、話は変わりますが、先日王子桜中の統合前の中学校の【生徒会誌】を眺めていたら、面白い記事を見つけました。〈授業の先生方に望む〉と題したコーナーには、昭和20年代当時(かなり昔ですね…)の中学生の生の声そのまま掲載されていました…。

- ・「一般に授業にユーモアが足りない。生徒は神経衰弱気味で点数にばかり気を配りすぎているのではダメだ…」
- ・「先生方の精神状況によって生徒が左右されることが多いから(先生方には)健全な精神状態で授業に臨んでもらいたい…」
- ・「先生は教室のすみずみまで見渡すこと。僕たちには授業を受ける権利があるということ(先生方は)忘れないでほしい…」

改めて読み直してみても、当時の中学生がユーモアや批判的精神?に富んでいたことや、それを受け止めていた学校や先生方の懐の大きさに驚かされます。さらに生徒会誌を読み進めていくと、当時の生徒会長の方が書いた格調高い一文にも出合いました。

『窓』は『心の窓』である。本校の『窓』を大いに開放しようではないか。新鮮な空気を導入し、活気に充ちた生活に胸を膨らませ、青空を突く勢いで伸びよう。何者にも驚かず臆せず、断乎として『窓』を開けようではないか。新しい学校を我々は築くのだ!(後略)

実に進取と自主の精神に富んだ言葉に、現在の王子桜中に脈々と受け継がれている学校文化のルーツを垣間見た気持ちになりました。卒業生と教職員が育ててきた【自主】の学校文化を開校20年目を迎えた令和6年度をステップとして、ますます躍動させていきたいと思ひます!

9月の行事予定

日	曜日	9月行事予定	日	曜日	9月行事予定
2	月	全校集会 避難訓練 部活動再登校 16時	17	火	2年振替休業日
3	火	定期考査一週間前(部活動原則なし)	18	水	2年振替休業日
6	金	2年 EC 那須健康相談	19	木	北区連合体育大会壮行会
9	月	脊柱側湾検診(1年他)	20	金	北区連合体育大会 (足立区舎人公園陸上競技場)
10	火	定期考査Ⅱ	23	月	秋分の日
11	水	定期考査Ⅱ 午後採点日	24	火	連合体育大会予備日
12	木	2年 EC 那須前日指導 午後採点日	25	水	北区教育研究会(午前授業)定時退勤日
13	金	2年 EC 那須始 答案返却開始	26	木	学校ファミリーの日(午前授業)部活再登校
15	日	2年 EC 那須終	27	金	英語検定 15:45 ~
16	月	敬老の日	30	月	生徒会朝礼 安全指導

王桜生の意識や行動の実態は？



7月29日に〈令和6年度全国学力・学習状況調査〉の結果が公表されました。

その中に〔生徒質問紙〕結果もあります。本校3年生の特徴的な傾向を読み取ってみました。

- 〔平日1日当たりどのくらいの時間テレビゲーム(スマートフォン等を使ったゲームを含む)をしますか?〕に対して、「3時間以上」と回答した生徒の割合は29.5%、一方「1時間未満、全くしない」割合は28.1%でした。スマホ等の使用時間に大きな差が見られます。
- 〔携帯やスマートフォン等の使い方について、家の人と約束したことを守っていますか?〕には、「きちんと守っている、だいたい守っている」と回答した生徒は67.6%、「守っていない、約束はない」と回答した生徒は20.9%でした。SNSの利用に関する家庭でのルールについて、お子様と話し合う機会をつくっていただければ幸いです。
- 〔困り事や不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか?〕に対して、肯定的な回答は67.6%、否定的な回答は31.7%でした。「約3割の生徒は学校の中にいつでも相談できる大人がいない…」という結果を真摯に受け止めていきたいと思っています。
- 〔学校に行くのは楽しいですか?〕や〔友達関係に満足していますか?〕への生徒の肯定的な回答は共に85%を超えており、ホッとさせられる結果でした。
- 〔学校の授業時間以外に、平日1日当たりどのくらいの時間勉強しますか(塾などを含む)〕に対して、「2時間以上」と回答した生徒は31.6%、一方で「30分未満または全くしない」と回答した割合は19.5%と、家庭学習時間についても二極化の傾向が読み取れました。
- 〔1,2年生の時に受けた授業で、PC,タブレット等のICT機器をどの程度使用しましたか?〕に対して、「ほぼ毎日、週3回以上」と回答した割合は82.0%で、全国の平均を17.6ポイント上回っていました。〔きたコン〕の授業での活用が定着してきたと考えています。
- 一人1台端末〔きたコン〕のよさについては、〔自分のペースで理解しながら学習進めることができる〕、〔分からないことがあった時に、すぐ調べることができる〕、〔自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる〕、〔友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる〕など、〈個別最適な学びや協働的な学び〉の効果的なツールとしても多くの生徒が肯定的に受け止めていることも分かりました。こうした調査結果を9月からの授業や学校運営の充実に生かしていきたいと思っています。



そばにいてあげる…

長い夏休みが終わり、友達や先生との再会を楽しみにしている人もいれば、久しぶりの学校生活の再開に何となく不安な気持ちを抱えている人もいるかもしれません。以前新聞を読んでいたら、都内の公立中学2年生のこんな意見が載っていました…。

「『悩んだら誰かに相談しなさい』って言われても、相談できないよね」「『私は大丈夫!』いつもこう言っている人ほど大丈夫ではないと思う。もし周りにそういう人がいるなら、私はそばにいてあげたい…」

私はこの中学生がケアの本質をととてもよく理解しているな…と感じました。

大人が子どものSOSを受け止めることも大事ですが、子ども同士の“支え合う”関係性を育てることも必要だと思っています。そして親子の関係も、生徒と教師の関係も、生徒同士の関係も、相手がつらい思いをしているときに「そっとそばにいてあげる。ゆっくり話を聴いてあげる」ことが相手の気持ちを少しでも軽くする近道だと感じます。夏休み明けのお子様の様子でもし気になることがありましたら、いつでも学校にご相談ください。



お知らせ

- 吹奏楽部 第64回東京都中学生吹奏楽コンクール(R6.8.5 練馬文化センター) **B組銀賞** (文化祭等でも受賞曲が演奏されます!お楽しみに!!)
- 卓球部 令和6年度北区中学校夏季卓球大会 **女子団体第3位**
女子シングル優勝 K.Y
- ソフトテニス部 令和6年度北区中学校ソフトテニス夏季シード権大会 **男子団体第3位** **男子個人優勝 T・H組(2年)**



